

グッとくる 山陰

2016 Autumn 秋

ご自由にお持ち帰りください

日本遺産を ご存じですか?

地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市
六根清浄と六感治癒の地

山陰べっぴん揃い

思わず深呼吸、森林セラピー®

【表紙写真】
大山の日の出

伯耆富士とも称えられる山容美しい大山は、神宿る山として、古くから信仰の対象でした。
大山を仰ぐ地元の人々は、親しみをこめて「大山さん」と呼び、毎朝、神々しい霊峰に手を合わせていたのです。



智頭森林 セラピー®

森林の町の
新しいセラピーで
癒やされてみる

鳥取県の南東部に位置する智頭町は、森林が町の9割を占める山間の里。森林は町の大切な資源として、『森林セラピー®』の町づくりを推進しています。では、森林セラピー®とは？
それは、森林浴を「歩発展させたもの。森の中に身を置き、森を楽しみながら、森の中で歩行や運動、リラクゼーション、ライフスタイル指導などを行うことで、その効果を達成するセラピーのこと。日々の暮らしにちょっと疲れたなど感じる事があつたら、智頭の森が待っています。

鳥取県八頭郡智頭町大字智頭2067-1
アクセス/JR智頭駅から車で約30分
問い合わせ先/(一社)智頭町観光協会
電話/0858-76-1111



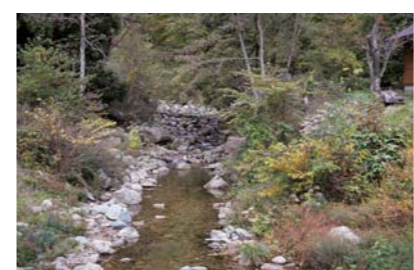
思わず深呼吸

森林セラピー®

飯南町 ふるさとの森

真つ暗な夜がある
森林の楽園
島根の軽井沢へ

島根県と広島県の県境からほど近い飯南町にある、森林セラピー基地「飯南町ふるさとの森」。森のホテルもりのすやオートキャンプ場、森林セラピーロードなどが整備され、誰でも自由に散策を楽しむことができる。島根の軽井沢的スポットです。もちろん、本格的な森林セラピーを体験したいのなら、森林セラピーガイドを飯南町観光協会で手配が可能です。標高約570mの高地は空気がびんと澄みきって、夜になれば、満点の星空が天体ショーを魅せてくれます。



島根県飯石郡飯南町小田842-2
アクセス/JR三次駅より車で60分
問い合わせ先/飯南町観光協会
電話/0854-76-9050

グッとくる山陰 秋号

発行元/JR西日本米子支社 鳥取県米子市弥生町2
☎0859-32-0255 *記載の情報は、2016年8月31日時点のものです。

山陰の隠れたお宝情報が満載!!
山陰いいもの 検索 右記QRコードからサイトへGO!



日本遺産を ご存じですか？



2015年、文化庁は、新たな制度として

『日本遺産(Japan Heritage)』を創設。

その目的は、地域に点在する遺産・歴史的魅力や特色を、点ではなく、面として活用し、

そのストーリーを語り発信することで、地域の活性化を図ること。

同年4月に第1期として18のストーリーが、

今年4月に第2期として19のストーリーが認定されました。

その中には、鳥取県の2つの日本遺産が含まれています。

それは奇しくも同じ時代、修験の霊場として絶大な勢力を誇った、

『大山』と『三徳山』のストーリーです。

中国地方の最高峰・大山は、『国引き神話』の中で、伯耆国なる火神岳として登場する日本最古の神山です。古来、山岳信仰に帰依する修験道の修行場として栄えていました。そのことと関係があるかはわかりませんが、「大山」と書いて「だいせん」と読む山は、おそらく日本でここだけでしょう。

奈良時代の養老2年(718)、大山の中腹に開山された大山寺に祀られるのは、牛馬守護の仏とされる地藏菩薩です。

やがて平安時代には、天台宗の寺院が次々と建立され、鎌倉から室町にかけて、大山寺は隆盛をまわめます。寺院160、僧兵3000人を抱えるほどの大きな勢力となっていました。

平安時代末期、大山寺の高僧・基好上人は、牛馬の安全を祈願するお守り札を配り、さらに、大山の牧野での放牧を奨励します。当時の牛馬は、農耕や運搬に欠かせない重要な相棒。そんな牛馬の健康と長寿を祈願するため、西日本各地から、各方面より続く参詣道「大山道」を通じて、参詣者が大山へと集まりました。すると、大山山麓で育てられた体格の良い放牧牛に参詣者の目は奪われます。一方で、参詣者が連れてきた牛馬との「牛くらべ・馬くらべ」が行われ、次第に牛馬の交換や売買が盛んになり、大山牛馬市へと発展したものと考えられています。

そして、江戸時代中期、大山寺は積極的に牛馬市の運営に乗り

地蔵信仰が 育んだ 日本最大の 大山牛馬市

大山寺地蔵群

大山寺境内の周辺には、地藏信仰の歴史を物語るお地藏さまが、今も200体ほど残されており、往時の面影を偲ぶことができます。

紅葉の大山



利生地蔵

大山寺を開いたとされる行基菩薩が入山されたとき、「水輪の法を修せられると、たちまち浄水が湧き出た」と伝わる利生水。その傍らで、静かに手を合わせ立っいらっしやるのが利生地蔵です。

出します。これが、地藏信仰が育んだ全国唯一の『大山牛馬市』というわけです。

明治時代以降、神仏分離によって大山寺の手を離れたあとも、牛馬市は地域の経済を支え、年間1万2千頭の牛馬が取引される国内最大の牛馬市に発展。当時のお金にして約200万円の牛を1頭持つことが一人前の証となる時代でした。それを現代に置き換えるなら、牛馬はさながら自動車でしょうか。

昭和12年春、役目を終えた牛馬市は暮を閉じます。けれど鳥取県では、全国に先駆けて登録事業を開始して、食肉としての和牛の品種改良に貢献。現在、世界的に持てはやされている和牛のルーツを突き詰めると、ここ大山に集約されるのだといえます。

食でいえば、参詣者の携帯食として、地元で採れる山菜やタケノコ・栗などの具材と餅米で作る「大山おこわ」が、日持ちと腹持ちの良さで喜ばれました。また、基好上人が栽培を奨励したと伝わる「大山そば」も牛馬市で振る舞われていました。ともに今も、地元で親しまれている郷土料理です。

2018年、大山寺は開山1300年を迎え、数々のイベントが企画されています。まだまだ奥深い『地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市』ぜひこの機会に、そのストーリーを旅してみたいかがでしょう。



大山牛馬市

昭和6年(1931)に撮影された、大山寺境内の下にある博労座「大山牛馬市」の様子。現在は駐車場になり、歴史の手掛かりは見当たりませんが、牛馬の代わりに車が停まっているというのがとても面白いと思います。



山陰いもの探検隊 隊員

NPO法人大山中海観光推進機構
(大山王国)理事長
公益財団法人
とっとりコンベンションビューロー理事長

石村 隆男
いしむら たかお

鳥取県米子市在住。大山が見えるエリアはひとつの文化圏として大山王国と名付け、この圏域のファンづくりの事業を1999年より取り組んできました。近年は、「不思議と素敵」大山ワンダー」というテーマで、圏域の魅力を探掘りして情報発信しています。

三徳山と大山は ライバルだった!?

これは三徳山の地元で伝わる民話。――

その昔三徳山と大山は、こころあることに背の高さで口喧嘩。

そこで判定を天の神様に頼むと、

2座の頂上に樋を渡し、天の水を注がれた。

すると水は、大山の方へゆつくりと流れたのだそう。

これを見た大山は、古わらじを頂上につき足すが、

それでもまだ不安。

ついに三徳山の昼寝をねらい、

頂上の土をこすりすくって逃げ出した。――

こうして、三徳山のでっぺんは平らになり、

大山の方が高くなったのだとか。

なんとも微笑ましいお話です。

六根清浄と

六感治癒の地

〔日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉〕



蔵王権現立像(投入堂正本尊)

仁安3年(1168)、運慶の師匠である、康慶の作。正中はぎ寄木造の表面に金箔装飾の立像。国の重要文化財。三佛寺は古い蔵王権現立像を複数所有することで有名で、その内の7体が国の重要文化財に指定されています。



三徳山三佛寺投入堂

三徳山の中腹、標高520mの断崖の凹みに建つ姿は優雅で、千年もの長い間、風雪に耐えていることが不思議。年輪年代測定法で調べた結果、現在も、平安時代後期の古材が残されていることが立証されています。



三朝温泉 株湯

源義朝の家臣であった大久保左馬之祐が白狼を救ったお礼として、妙見菩薩から「楠の根元から湯が湧き出ている。その湯で人々の病苦を救いなさい」と教えられた場所。今も古木の根元から温泉が湧き、公衆浴場としても親しまれています。



山陰いもの探険隊 隊員
三徳山三佛寺 次長
米田 良順
よねだ りょうじゆん

鳥取中部観光施設ネットワーク副会長、倉吉ユネスコ協会理事、鳥取牛骨ラーメン応援団 団長など地域活動に積極的に取り組んでいます。三徳山三佛寺の世界文化遺産登録へ向けて運動中です。



http://www.ekiren.com

観光・ビジネスに便利。駅から徒歩圏内。山陰にお越しの際は、駅レンタカーの、ご利用をお待ちしております。【グッとくる山陰提示で基本料金の20%割引いたします。(Sクラス限定)】

◎鳥取営業所 TEL:0857-24-2250 ◎出雲市営業所 TEL:0853-21-8193
◎米子営業所 TEL:0859-34-1140 ◎西日本予約センター TEL:0088-24-4190
◎松江営業所 TEL:0852-23-8880

※4月27日～5月6日、8月11日～20日、12月28日～1月6日は割引対象外
※Sクラス以外のクラスは割引対象外。※台数に限りがございます。
※ご利用・ご予約の際は「グッとくる山陰プラン」とお伝えください。

待ち受けています。けれど、その苦労は、参道に点在する数々の建築や、眼下に広がる美しい風景で報われます。三徳山の参拝登山を無事に終えれば、目・耳・鼻・舌・身・意を意味する「六根」が清められるのです。そして、参拝登山の後は、世界屈指のラドン泉で知られる『三朝温泉』が待っています。三朝温泉の起源は、今から850年以上前のこと。三徳山参拝に訪れた大久保左馬之祐というお侍さんが、年老いた白狼に出会い、一度は弓で射ようとしたのですが、「参拝の後に殺生はならん」と思いとどまります。その夜、妙見菩薩が夢枕に立たれ、狼を助けたお礼にと温泉の湧く場所をお教えくださったのです。以来、救いのお湯として、村人たちが湯治客の病を治したと伝わります。三朝温泉は、湯治によって、観・聴・香・味・触・心を意味する「六感」を清める癒やしの場所です。

古来、三徳山で修行をし、三朝温泉で精進落としをした古人のように、六根清浄と六感治癒の地で過ごす時間は、身も心も解放してくれる特別な体験になるでしょう。

そのまま食べられる
不思議なきのこ

那須亮紀さん



くせになる
サクサク食感

戦後、椎茸の栽培を国内に広げようとした日本。その拠点を置いたのが自然豊かな鳥取でした。その出発点となった鳥取で地元産の各種きのこを使った野菜スナックならぬ、きのこスナックを考案。それが意外とおいしく出来上がり、たくさんの方々が高評価をいただき、販売へと進みました。ヘルシーで無添加の「きのこ屋さんのサクサクきのこ」(22g ¥50)は現在3種類販売されており、若い女性から人気を集めています。鳥取駅・米子駅・松江駅のおみやげ楽市にて取扱い。

●菌茸椎茸協同組合ヘルシー事業部
鳥取県鳥取市吉成140-1
0857-29-7020
<http://www.sakusaku-kinoko.com>



野菜が苦手でも
食べられるジャムを

野菜が苦手なお子様でも食べてもらいたいと願う小林さんが考案したジャムソース。種類は2種類あり、「野菜と林檎」(130g ¥486)は、鳥取県産のりんじん・かぼちゃ・林檎をブレンドし、愛媛県産のみかんはちみつでまろやかに仕上がっています。「小豆と檸檬」(150g ¥486)は、鳥取県産の小豆と爽やかな香りの国産ストレートレモン汁がたっぷり入っています。どちらもヨーグルトに限らず、パンやアイスなどにかけても美味しいです。米子駅・松江駅のおみやげ楽市にて取扱い。

●大山マイルファーム
鳥取県西伯郡大山町岡559
090-7549-2455
<http://dsfitesar.jp>

意外な味は
びっくり
やみつき!

小林美穂子さん



山陰べっぴん揃い

※べっぴん(別品)は特別にいい品物のこと。

相性抜群の肉味噌

鳥取県産の砂丘ごぼうを主に使用し、老舗の八丁味噌など4種類の味噌を配合して創作した珍味「ごぼう肉みそ」(90g ¥540)。コクのある味噌にごぼうの歯ごたえと鳥取産の鶏豚のひき肉の旨みが癖になる一品です。麻婆豆腐やおにぎりの具、冷や奴などにいかがでしょうか。一度食べたらとまらない味をお楽しみください。鳥取駅・米子駅・松江駅のおみやげ楽市、倉吉駅のデイリーインにて取扱い。

●前田農園

鳥取県東伯郡北栄町妻波677
0906-86-71-10200
www.maedafarm.com



お酒の肴にも
どうぞ!



前田 修志さん

食を豊かにする オリジナル塩麹

日本古来の甘酒技術と東北地方の三五八(ごはち)漬の技術を融合し独自の技術で製造した「甘麹醬(あまこうじひしお)しお」(140g ¥648)。鳥取県産のもち米の甘さを麹菌がうまく引き出し、健康の為にきな粉の風味が加えてあり、化学調味料を一切使用していません。今までの塩麹の常識を覆す、単なる塩麹とは呼べない商品です。料理の下ごしらえはもちろん、温野菜につけたり、そのまま食べても美味しい塩麹になっています。鳥取駅・米子駅・松江駅のおみやげ楽市、倉吉駅のデイリーインにて取扱い。

●前田農園
鳥取県東伯郡北栄町妻波677
0906-86-71-10200
www.maedafarm.com



竹を織りなす 匠の技

縁起が良いものです。
引き出物にもどうぞ!



中野 喜美子さん

中野竹藝は、大正元年創業で歴代の天皇陛下にも竹細工を献上するなど高い技術と歴史がある老舗です。竹を割らないで丸く曲げたり、真っ直ぐに矯正して組み合わせて制作する特殊技法は丸竹加工といい、世界で二つの技術と言われています。その世界に誇る日本の技術を用いて美しい曲線を描いた「アラジン」(¥3,200)は、和と洋どちらの雰囲気にもピッタリ合い、竹の内側には水漏れがないように銅板が張ってあります。また、竹垣を自由に曲げ陶器の中に四季の草花を入れて楽しむ「自由垣」(¥1,700)は、竹垣との組み合わせ次第で様々な雰囲気を出し、お部屋の中に小さな庭ができて空間を楽しませてくれます。松江駅のおみやげ楽市にて取扱い。

●創作工房 中野竹藝
鳥取県倉吉市東仲町257-3
0906-233-7500



白熱電球型の地酒

全国的に人気のある鳥取県の三朝温泉。その三朝温泉街の一角に酒蔵を構え、酒造りに精進している藤井酒造。ここでは、昔懐かしい白熱電球型の容器の中に古くから地元の人に愛されてきた藤井酒造の代表銘柄「三朝正宗(ミサササムネ)」の原酒が入ったお酒があります。「三朝正宗原酒入電球型」(180ml ¥864)。冷やしてストレートロックで飲んでほしい、飲み終わった後の容器は、おしゃれなインテリアとしても使えます。記念品やプレゼントにいかがでしょうか。鳥取駅・米子駅・松江駅のおみやげ楽市にて取扱い。

●藤井酒造合資会社
鳥取県東伯郡三朝町大字三朝870-1
09058-430856
<http://www.fuji-sake.co.jp>



観光客の方にも
人気の商品です。

藤井 公典さん



左記マークのついた商品につきましてはJR駅構内の店舗などで取り扱っております。

※掲載商品の金額はすべて税込表示です。